

# 本気で付合える旅のクレジットカード

## ～カード選びの本音～

クレジットカードのマイルバブル時代もいよいよ終りが近づいてきました。100円＝1マイルを超えるカードはもはや数えるほど。エディもほとんどチャージマイルが付かなくなり。あれほど増加繁殖していたカードジャンキー達は、改悪されたカードの解約・乗り換えに大忙しです。大量マイルで有名だったANA三井住友VISAカードホルダー達は、次に何のカードを目指すのでしょうか？

いままでマイルバブルに目を奪われていた旅行者の意識が変化しています。本当にいいクレジットカードはどれ？いいカードの意味は？旅行者に役に立つカードは？そして、ずっと一生安心して付き合えるカードって一体？空っぽのステイタスや、意味のないブランド意識に影響されないクレジットカードの基本の意味を、カードホルダー達が本気で考えはじめています。

## 落選？当選？不幸の手紙が届くワケ

クレジットカードを申し込んでも、必ずカードが届くわけではありません。楽しみに待っていても不幸の手紙が来るのはなぜでしょう？

カード会社は個人信用情報機関を開示して、あなたのクレジット履歴を参考にします。この機関には、KSC、CIC、CCB、テラネット、FCBJ等があり、それぞれが、銀行系、流通系、サラ金系などに分かれています。銀行系のカードならKSC、CIC、CCB、流通系のカードならCIC、CCB、テラネットを開示するなど、各カード会社によってどの開示機関を利用するのか決まっています。

もしAさんが、銀行系カード(Bカード)を3月1日に申し込むと、Bカードはこの3つの機関からAさんのクレジット履歴を読み取ります(クレジット履歴にはAさんが持っているカードの登録状況や使用状況、申し込み状況、解約状況等が書かれています。)そして今回Bカードを申し込んだ件を登録します。

Bカードは、Aさんの申込書の各要素(属性)、年齢、勤務先、年収等と、この信用情報を参考にスコアリング(点数化)して入会のための信用度を判断します。

ここで、Aさん自身の各要素がとても社会的に優れていても、信用情報のサイドで問題になるケースが生じます。

・申し込み状況は6ヵ月間保存されるので、短期間に何枚ものカードを申し込むと履歴が残り、多重申し込みとしてみなされ落ちます。一般的に6ヵ月間に3枚程度が限度と言われています。ただ、言い換えると6ヵ月経つと履歴が消え真っ白になるので、半年我慢すればOKです。

・現在所有しているカードがすべて登録されているので、各カードの枚数と合計限度額が、所得に対して多すぎる場合落ちます。また、ゴールドや、プラチナカードが多い場合も落ちる場合があります。すでにアメックスやダイナースを持っていると、もう受け付けてくれないカードも多いようです。

・逆に今までカードを持っていなくて、情報が真っ白な場合も落ちます。最初は審査基準のゆるい作りやすいカードを取得して、利用実績を作ってから本命カードに申し込むとOKです。

・解約の履歴は5年間保存されます。キャンペーンでボーナスマイル目当てで申し込み、初年度の年会費無料が過ぎたからといって平気で解約すると、データが残り、他カード申し込み時にその履歴がマイナスイメージとなり落ちる場合があります。解約だらけのデーターは悪材料です。信用情報はなるべく綺麗にしておかないとイザという時(家のローンなど)困ることになります。

・支払い延滞などの事故のデータも5年間保存されます。例えばCカードの延滞でKSCにブラックなデータが残ると、KSCを開示するDカードを申し込んでも落ちます。5年経ってKSCのブラックデータが消えない限りDカードを取得することが出来ません。また、延滞したCカードの社内情報にもブラックデータが残るため(これはかなり長期間とされています。)今後Cカードを取得することは難しいようです。ただし、逆に言うとKSCがブラックでもCIC、CCBが真っ白ならCIC、CCBのみを開示する(例Dカード)なら全くKSCは関係ないのでDカードを取得することが可能です。

このように個人信用情報機関 KSC、CIC、CCB、テラネット、FCBJ等は個人の各カード会社のデータが登録されていますが、もちろん自分自身のデーターを自分で開示して確認できます。身分証明書等や開示料(500円程度)で開示できますので、一度ご自分のデーターを確認しておくことをお勧めします。KSCは大手町、CICは西新宿にあり来所でまたは、郵送でも開示できます。

・属性ですがいくら年収があっても職業はシビアに見ますので、本当に無職でも無職と書くと落ちます。自宅警備員！？もありかもしれませんが、やはり自営としておくと問題ないようです。あまり嘘でない範囲で記入する必要があります。意外と農業と書くと成功率があがる報告があります。

・JCBカードを持っているEさんが、他の提携JCBカードを申し込むとほとんどOKです。しかし初めてのDCカードを申し込むと落ちる場合があります。新規のカードより既存のカードのほうが審査が甘いようです。新規の場合はお持ちの銀行口座の所属クレジットカードなど審査が甘いカードを先に作っておくと、その後の本命カードがOKになりやすくなります。

## 旅に使えるカード、使えないカード

海外旅行をしていると、手持ちのカードが使えない場合がよくあります。なぜでしょうか？それは、カードブランドによって、加盟店がまったく独自に開拓されているので、そのお店がどのブランドの加盟店かは、実際カードをレジを通してみないとわからない場合が多いのです。

日本で発行しているカードの国際ブランドはVISAビザ、マスター、JCB、アメックス、ダイナースの5つです。この5つのブランドは2タイプに分けられ、自社でカード発行、加盟店を作っているT&E(トラベル&エンターテイメント)カードタイプのJCB、アメックス、ダイナース。フランチャイズ方式の決済中心提携カードタイプのVISAビザ、マスター。

T&Eタイプのカードは、旅行の予約やサポートなど色々なサービスが充実しているのが特徴とされ

ています。(アメックス、ダイナースは高い年会費ほどはサービスなんてほとんどナシとの声もありますが…。)ただし、加盟店は自社の力で開拓するしかないので数が少なく、使えない場合が多いのは仕方ありませんが、特に海外でJCBは使えない場合が多いので困りものです。アジアの都市で日本にもよくあるチェーンホテルでさえも、使えない場合に遭遇し驚きます。

JCBが使えないとき、やっぱり使えるVISAビザカード。困ったときに実感します。駅でも、ドラッグストアでも、どこでもOK。ただしヨーロッパ圏はマスターのほうが強いので、海外旅行派には両方持つのをお勧めします。

使っていると解ってきますが、VISAビザとマスターはお金と同じで、単なる決済だけって感じです。T&E系カードと比べると、デスクやサポートも見劣りして、今ひとつって感じも、そもそも付帯サービスに力をいれてないっていうのが見え見えで、物足りなくなってきました。

そう考えていくと、2枚カード持ちなら、VISAビザ(マスターよりは使えるので)とT&Eカード好みに1枚。3枚カード持ちなら VISAビザとマスターとT&Eカード1枚 のパターンなら海外旅行で最強組み合わせですね。

T&Eカードの中でどれを選ぶのかは、本当に好みの問題になりますが、日本国内利用が中心ならやはりJCBがお勧めです。何しろ日本唯一の国際ブランド。年会費もプロパーで1,312円これで十分じゃないでしょうか。ダイナース(15,750円)は富士銀行時代からシティバンクに変わり、昔ほどのステイタスはもうないのではとの意見が一般的です。

## イザというとき、頼りになるのは？

カードを使用していると、見に覚えがない不正使用されるケースがでてきます。旅行中知らないうちにデーターをスキミングされたり、盗難にあったり、ネットで使用している時に不正にあったり。カードには危険が付き物です。そんな時、あなたのカード会社はあなたの味方になってくれますか？

紛失した場合、カードの即日再発行で有名なのがアメックス。世界1700カ所のオフィスで可能。また、JCBでも一部のJCBプラザで即日発行可能。これらは自社カードブランドだからこそ可能なサービスです。これならアクシデントがあっても計画通りに安心して旅行が続けられますね。

また、不正使用の場合、請求書に見覚えのない請求を発見したとします。もう口座引落しが迫っていますが、引落し額からその不正請求を除いてくれる可能性が多いのが、JCB、三井住友VISA、アメックス、。不正請求分は、調査部が独自に調査して請求が正当かどうかを審査。その結果不正の場合は、勿論請求は取り消し。カードも再発行になります。お客サイドが気がつかない不正請求も会社側で、見つけて連絡が来ることも多く。加盟店はすべて自社加盟店なので、加盟店管理がしっかりしているようです。(JCB、アメックス)

引落し額が変わらず。とりあえず不正請求分も合わせて引落されてしまうのが、DC、セゾン、オリコ、VIEWビューなど。不正分はお客自体が海外の請求先へ問い合わせが必要。その報告をカード会社へ伝える。カード

会社はその報告を元に調査部が調査をして、不正が認められた場合は、引落し分を戻す。ただこれらのカード会社は提携VISAビザ、マスターなので、加盟店の状況はほとんど不明です。社内の審査部の規模や能力も疑問。顧客は調査の進行状況もわからず、引き落とし分がいつ戻るのかもわかりません。結局泣き寝入りの場合もあるとか。  
特にユーザー間では、オリコ、セゾンは最低な対応で有名です。

## そのゴールド、ほんとにゴールド？

ゴールドカードは一般的に年会費10,500円。一般カードは1,312円なのでこの差額分にゴールドのメリットはあるのでしょうか？

限度額が多い(100万～200万)  
ゴールド専用電話・デスク(一般と変わらないような気が……。)  
旅行障害死亡保険金(5,000万円)  
空港カードラウンジサービス(利用価値？)  
情報誌の送付(マンネリ？)

この程度のために、差額分9,188円必要と考えると、全然割に合わない気がします。  
実際はあの金ピカのカードを、レジに出すときのちょっとした気分の良さの為の9,188円ですか！？

さて、プラチナカードになるとインビテーション(招待状)がないと欲しくても持てないワケですが、  
空港のエアラインラウンジが使えるプライオリティ・パスのサービス  
最高のレストラン、ホテルの優先予約のプラチナデスク(24時間)  
誕生日にプレゼント

こんな感じで年会費21,000円(セゾンプラチナアメックス)～52,500円(JCB THE CLASS)～105,000円(ダイナースプレミアム)など。

プライオリティ・パスは旅行者には欲しいサービスですが、楽天プレミアムカード(10,500円)でOKですね。  
やはりプラチナ、一度持つと止められない魅力があるんでしょうか？？

## お得もいいけど、大丈夫？

この楽天プレミアムカードを申し込もうとホームページを見てみた。しかしこのカードの詳しい内容がよくわからなかったなので、問い合わせの電話番号を探した。でも簡単に電話番号は見つからなかった。やっとのことで見つけた電話番号は東京から遠く離れていた。

「すみません、このカードのパンフレットを郵送してほしいのですが？」  
電話口の担当者は戸惑っていた。  
「少々お待ちください。」  
少々のはずだったが、すでに、3分、6分と過ぎていった。  
しかも、昼間の長距離電話。テレホンカードの度数がドンドン減っていく。  
「すみません、パンフレットはないんです。」

「ないのですか？じゃあ申込書を送ってください。」

また、待たされて、何分かが過ぎた。

「申込書もないんです。」

「じゃあ、どうやって申し込みするんですか？」

また、待たされる。

「インターネットからしてください。」

「ふつう、カードって郵送で申し込みしますよね。セキュリティの問題もあるので、郵送でお願いしたいのですが？」

「うちは、インターネットからしか申し込みできないんです。」

担当者の話し方とか、対応はいつも利用しているカード会社とは雲泥の差だった。

なにかカード会社でない所と話をしているような気がしていた。

テレホンカードが最後の度数になり、ピーとなると、

それ以上話をしても無駄のような気がして、受話器をおいた。

海外旅行から帰って、このカードの明細に見覚えのない請求が載っていたら、

また、遠くまで電話して、何分も待たされるのだろうか？

この会社の調査部が、トラブルに関して海外の加盟店と同等に渡り合えらるとは、全く思えなかった。

もし、カードができてプライオリティ・パスは使うとしても、このカードで決済することは、絶対にないんだろうなという予感が、最後の穴の開いたテレホンカードを眺めているうちに確信に変わっていた。

## そして今、選ぶべきカードは？

マイルバブル時代、マイルが貯まれば貯まるほど、良いカードとしてもはやされました。しかし、改悪が続く、最近には本当に利用価値のあるカードは何か？多くの人が迷い、カードガイド本もたくさん出版されています。しかしガイド本には、クレジットカードの表面上のことしか書かれていません。

確かに、マイルやポイントがたくさん貯まることは、利用者にとって重要なポイントです。

しかし、カードが利用者の個人情報や高額な使用可能額を持つことは、万が一のアクシデント時には、大きなトラブルの原因となります。

そんな時に、味方になってくれるカードでないと、安心して使うことが出来ません。特に海外の旅行者の場合にはなおさらです。

管理の甘いカード会社からは、個人情報漏えいのリスクも抱えることとなります。

2007年12月19日より貸金業法による総量規制の一部が前倒しで開始されています。

2010年6月までに総量規制が完全に実施されます。

キャッシング利用の際、与信調査が行われ、年収等の証明書の提出が必要になります。

カードの新規発行も限度額が厳しくなります。

自分自身が犯罪やトラブルに巻き込まれないためにも、本気で付き合っていけるカードを真剣に考えていかなければいけない時が来ているのかもしれない。